

大型バスの原動機（エアコンプレッサ）のリコールについて

平成 27年4月9日

リコール届出番号3547

平成27年4月9日、UDトラックス株式会社に車両を供給している三菱ふそうトラック・バス株式会社が下記のリコールを国土交通省に届出しました。

対象車両をご愛用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしまして誠に申し訳ございませんが、ご愛用車の措置につきましては、販売会社よりご連絡・ご相談をさせていただきますので、点検・修理（無料）をお受けいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

対象車両をご愛用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

1. 不具合の状況

- 大型路線バスにおいて、エアコンプレッサのシートガスケット（エアコンプレッサ内の冷却水通路とエア通路の気密性を保つもの）の強度が不足しているため、ピストンの往復運動による圧力振動で当該ガスケットに亀裂が発生するものがあります。そのため、冷却水がエア通路に浸入し、

①

エア圧送時に配管を伝わり、エアドライヤ（圧縮空気中の水分や油分を取り除くもの）から排出され、冷却水が減少することで警告灯が点灯し、そのままの状態で使用を続けると、エンジンの出力が制限されます。

②

エア圧縮時の熱により冷却水が乾燥し、結晶化して生成された固形物が吸排気バルブに付着することで、吸入または圧送されるエアが減少するため、エア圧が低下することで警報ブザーが鳴るとともに警告灯が点灯し、そのままの状態で使用を続けると、十分なエア圧が確保できなくなりブレーキ機能に影響を及ぼし、路上故障に至るおそれがあります。

2. 改善の内容

- 全車両、エアコンプレッサヘッド一式を対策品と交換するとともに以下の改善措置を実施します。

・

当該ヘッドのエア通路に冷却水の浸入が認められたものは、エアコンプレッサのピストンとシリンダライナーを新品に交換し、エアドライヤのオーバーホールを実施します。

・

エア系統を点検し、冷却水の混入が認められたものはエア系統を清掃し、不具合が生じた部品を新品に交換します。

3. 対象車両

- 三菱ふそうトラック・バス株式会社が製作し、UDトラックス株式会社が販売している大型路線バスが対象です。
- 型式、車台番号の範囲、製作期間、対象台数は次の通りです。

| 車名 | 型式 | 通称名 | リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間 | 対象台数 |
|-------------|------------|------------------------------|---|---------|
| UD トラックス | LKG-AP35FK | 「ス ^レ ーランナー-A 」 | AP35FK-20001～AP35FK-20002 平成23年2月17日～平成23年2月17日 | 2 |
| | LKG-AP35FM | | AP35FM-20001～AP35FM-20020 平成22年10月1日～平成23年4月6日 | 20 |
| | LKG-AP35FP | | AP35FP-20001～AP35FP-20003 平成22年10月19日～平成23年1月10日 | 3 |
| | LKG-AP37FK | | AP37FK-20001～AP37FK-20024 平成22年10月6日～平成23年3月1日 | 24 |
| | LKG-AP37FM | | AP37FM-20001～AP37FM-20005 平成22年11月4日～平成22年11月4日 | 5 |
| | (計 5型式) | (計 1車種) | (製作期間の全体の範囲) 平成22年10月1日～平成23年4月6日 | (計 54台) |

備考：

本件は、平成25年6月11日付 届出番号「3166」にてリコール届出を行ったものですが、対策が不十分であることが判明したため、再度対策を行うものです。

<ご注意>

- 対象車両の含まれる車台番号の範囲には、対象とならない車両もありますので、詳しくは最寄りの UDトラックス販売会社にお問い合わせください。
- 対象車両の製作期間はご購入の時期とは異なります。

【お問い合わせ先】

UDトラックス株式会社 お客様相談室

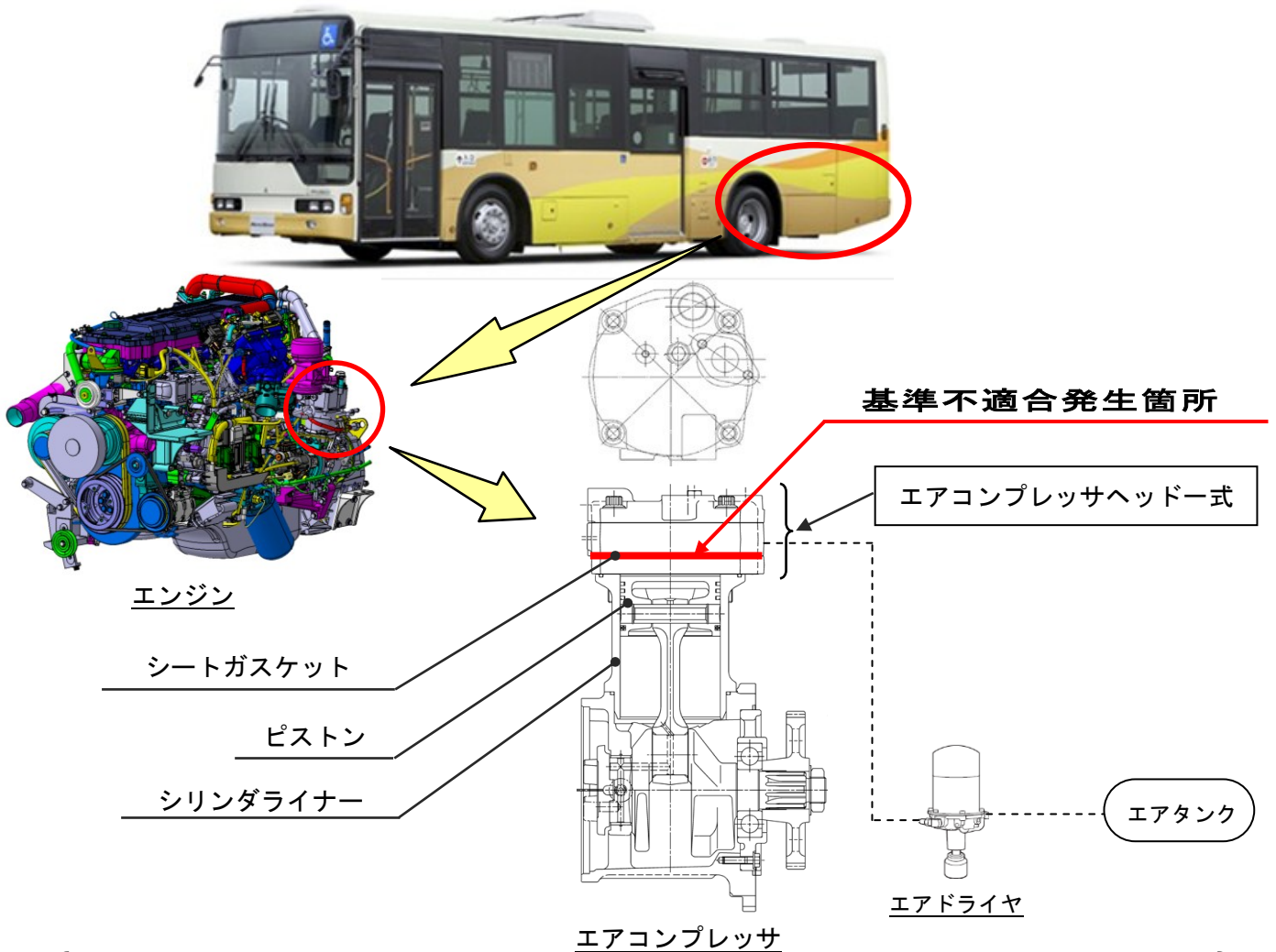
〒362-8523 埼玉県上尾市大字壺丁目1番地

フリーダイヤル 0120-67-2301

オープン時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00

但し、会社休業日を除きます。

改善箇所説明図



中型トラックと大・中型バスにおいて、エアコンプレッサのシートガスケット(エアコンプレッサ内の冷却水通路とエア通路の気密性を保つもの)の強度が不足しているため、ピストンの往復運動による圧力振動で当該ガスケットに亀裂が発生するものがある。そのため、冷却水がエア通路に浸入し、

- ① エア圧送時に配管を伝わり、エアドライヤ(圧縮空気中の水分や油分を取り除くもの)から排出され、冷却水が減少することで警告灯が点灯し、そのままの状態で使用を続けると、エンジンの出力が制限される。
- ② エア圧縮時の熱により冷却水が乾燥し、結晶化して生成された固形物が吸排気バルブに付着することで、吸入または圧送されるエアが減少するため、エア圧が低下することで警報ブザーが鳴るとともに警告灯が点灯し、そのままの状態で使用を続けると、十分なエア圧が確保できなくなりブレーキ機能に影響を及ぼし、路上故障に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、エアコンプレッサヘッドー式を対策品と交換するとともに以下の改善措置を実施する。

- ・当該ヘッドのエア通路に冷却水の浸入が認められたものは、エアコンプレッサのピストンとシリンダライナーを新品に交換し、エアドライヤのオーバーホールを実施する。
- ・エアシステムを点検し、冷却水の混入が認められたものはエアシステムを清掃し、不具合が生じた部品を新品に交換する。

注 : は、交換する部品を示す。

識別 : 作業完了車には、所定の位置に「MT77」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。

バス : 車両左後方点検リッド裏